講義名	公務員特別演習Ⅰ					授業形態	
担当教員	関　陽／河辺　有希生	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	PSC150

主題と概要

【目的】
公務員特別演習は、公務員を目指す経済学部生を対象とする、１年後期（演習Ⅰ）から４年前期（演習Ⅵ）まで一貫したプログラムである。「究極のサービス業」とも呼ばれる公務員は、様々な分野で、多くの人々の暮らしを支える非常にやりがいのある職業である。したがって、この演習のみで合格できるほど公務員試験は甘くはない。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはいない。つまり公務員試験には、自ら考え、仲間とともに正解のない問題に挑戦できる総合的な人間力が求められている（まさに本学が掲げる「ネアカのびのび へこたれず」の精神をもった人材）。そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、様々なヒントを段階的に与えることで、公務員を目指す諸君をサポートしていく。

【内容】
１年生後期の公務員特別演習Ⅰでは、次の２つの内容を行う。
・公務員に関する講演・講話・体験談や、受講生が自ら行う調査・発表・ディスカッション等を通じて、公務員に関する理解を深め、モチベーションを高める。
・公務員試験の「数的処理」分野の問題を解くために必要な知識や基礎力を修得し、能力の底上げを図る。

到達目標

・公務員に関する理解を深めて、目指したい公務員像を作ることでモチベーションを高めて維持することができる。
・公務員試験の「数的処理」分野の基礎能力を養うことができる。

提出課題

・自分が選んだ行政区のことを調べるとともに、公務員関連事項に関する調査・発表を行う。
・他者の発表に対して複数回（３～５回程度）以上の質疑を課す。
・公務員試験の「数的処理」分野の過去問演習と確認テストを行う。
・講義記録ワークシートを毎回提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

調査・発表と質疑応答については、発表後に講評する。
過去問演習と確認テストについては、講義中に解説を行う。
講義記録ワークシートは次回授業の冒頭に返却し、必要に応じて講評や説明を行う。

評価の基準

公務員関連の調査・発表・質疑応答が40%、「数的処理」分野の過去問演習と確認テストが30%、授業参加度合（授業態度、授業における質問・発言等及び講義記録ワークシートによって評価する）が30%の割合で評価する。

本授業は期末試験を実施せず、成績は授業期間内で全て評価される。この科目は、継続的な演習を中心とした科目である。欠席すると以降の演習に支障をきたす恐れがある。このため、目標達成のためには、初回から最後まで全て出席すること。

履修にあたっての注意・助言他

本授業を履修するには、ガイダンスへの参加とエントリーシートの提出が必要です。
【ガイダンス】
１年前期（５～６月）にガイダンスを実施するので、履修希望者は必ず参加して下さい。
【エントリーシートの事前提出】
公務員対策は４年間にわたる長丁場の取り組みとなり、強い意志が必要となります。そこで履修希望者は、エントリーシートを提出して頂き、それが審査されて履修の可否が決定されます。エントリーシートの詳細はガイダンスで説明します。なお、本授業は定員を設けております。

【その他の注意・助言】
・本クラスは、真剣に公務員試験合格を目指す学生を対象とする。理由なく遅刻・欠席しないこと。
・本プログラムの学習のみで合格できるほど、公務員試験は甘くない。本クラスはあくまでも公務員志望者のサポーターである。受講生諸君が独自に試験対策を練り、自習を重ねる必要があることは言うまでもない。
・学内の公務員試験対策講座（3年生から始まる有料講座）等の受講、もしくは外部専門学校の受講（ダブルスクール）を強くお勧めする。

・「基礎技能B」以外の関連する正課授業も、順次、履修することを強く推奨する。
（共通）法学入門、経済学入門、地域まちづくり概論、防災まちづくり論、業界研究（官公庁）
（行政職希望）民法A・B、憲法、政治学、財政学、行政学、地方行政論、地方財政論、経済数学、ミクロ経済、マクロ経済
（公安職希望）基礎技能A（数的処理Ⅱ）

教科書

．教科書は使用しない。．				

参考図書

その他

必要に応じて資料を配布する。

参考図書：
「公務員試験「数的推理」が面白いほどわかる本」、柴崎 重孝（著）、KADOKAWA
「公務員試験「判断推理」が面白いほどわかる本」、柴崎 重孝（著）、KADOKAWA
「公務員試験 新・初級スーパー過去問ゼミ 数的推理 改訂版」、資格試験研究会（編集）、実務教育出版
「公務員試験 新・初級スーパー過去問ゼミ 判断推理 改訂版」、資格試験研究会（編集）、実務教育出版

授業計画

１　ガイダンス＋講義「聴く・メモを取る・まとめる①」　神戸新聞社
　予習：シラバスを見るとともに、公務員について可能なかぎり調べること（120分）
　復習：振り返り・まとめを行い、授業内容の理解を深めること（120分）
２　ワークアカデミー川口さん　「最新公務員試験の動向」
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめを行い、授業内容の理解を深めること（120分）
３　［ミニ講義］情報収集の方法　＋教養＋講義：「発表の方法について①」
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめを行い、授業内容の理解を深めること（120分）
４　［ミニ講義］公務員の種類　＋教養＋講義：「発表の方法について②」
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめを行い、授業内容の理解を深めること（120分）
５　講演　神戸市職員さん（3人）
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめを行い、授業内容の理解を深めること（120分）
６　講義「聴く・メモを取る・まとめる②」　神戸新聞社
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめを行い、授業内容の理解を深めること（120分）
７　振り返り①＋教養
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめ・演習課題を行い、授業内容の理解を深めること（120分）
８　教養＋発表①
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめ・演習課題を行い、授業内容の理解を深めること（120分）
９　教養＋発表②
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめ・演習課題を行い、授業内容の理解を深めること（120分）
10　教養＋発表③
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめ・演習課題を行い、授業内容の理解を深めること（120分）
11　教養＋発表④
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめ・演習課題を行い、授業内容の理解を深めること（120分）
12　内定者交流会＋教養
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめ・演習課題を行い、授業内容の理解を深めること（120分）
13　教養＋発表⑤
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめ・演習課題を行い、授業内容の理解を深めること（120分）
14　教養＋発表⑥
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめ・演習課題を行い、授業内容の理解を深めること（120分）
15　（発表予備）　振り返り・まとめ
　予習：シラバスを見るとともに、指示された内容の予習をすること（120分）
　復習：振り返り・まとめ・演習課題を行い、授業内容の理解を深めること（120分）

※上記の「教養」：面接試験に向けての対話練習や、教養試験対策の時間（２０分程度）

上記授業計画及び授業内容は変更される可能性があります。

各授業において予習（120分程度）、復習（120分程度）あわせて４時間の自主学習が必要です。

・予習の内容は、各授業の最後に示します。
・復習の内容は、次の２つ
①　授業の内容を振り返り、まとめることが基本です。（B5サイズのノートを準備すること）
　公務員試験突破に向けて、「自分のオリジナル学習ノート」の作成をお勧めします。復習の振り返り、まとめを自分の言葉で記録していくことで、３年後のあなたの公務員試験対策本が完成します。
②　「教養」での振り返りと演習課題

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本演習は以下のディプロマポリシーと関連する。
【流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力】
①「ネアカのびのび へこたれず」の精神をもった人材
②知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
③創造力 新しい視点と豊かな発想 を持った人材
④自主・自立の精神を持った人材
⑤仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材
⑥「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

演習形式の授業である。受講生が公務員関連事項について調査・発表・質疑応答を行う。過去問演習はディスカッションをしながら行う。

実務経験の有無及び活用

備考